

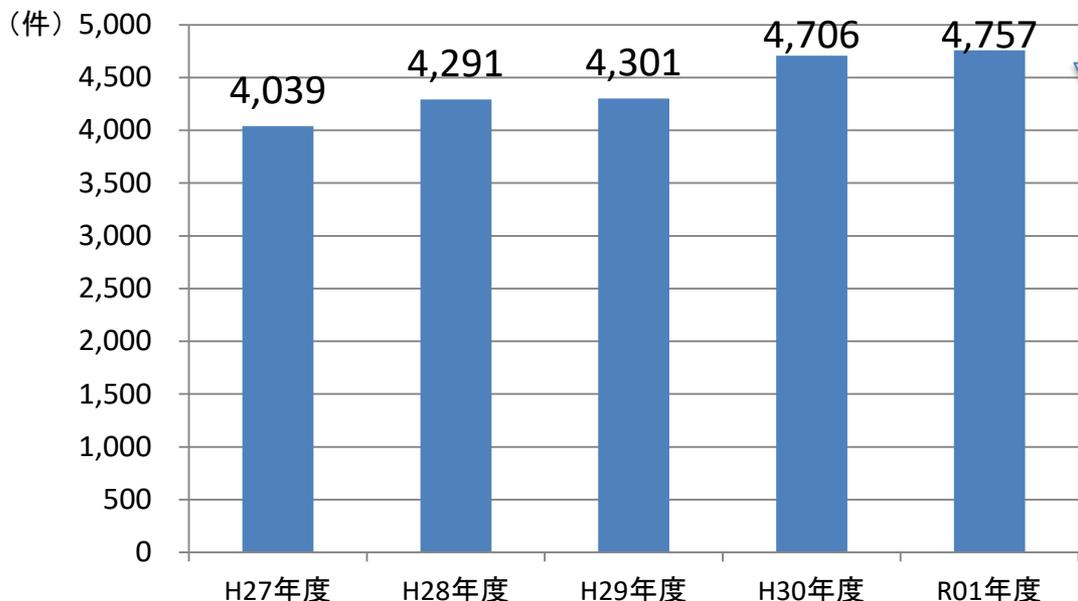
手術全身麻酔件数

■ 解説: process指標

手術を行うためには麻酔が必要です。麻酔には手術部位の痛みをなくす局所麻酔と患者さんを呼吸管理のもと無意識状態にて痛みをなくす全身麻酔があります。

全身麻酔は、局所麻酔に比べ麻酔医、看護師等の負担が大きくなるためその件数が手術部門の業務量を反映する指標となります。

■ 当院の実績



《自己点検評価》

手術全身麻酔件数は順調に増加し、令和元年度には平成27年度比で約1.17倍の件数となりました。この実績(100床換算)は、国立大学病院ではトップクラスです。

また、全身麻酔だけでなく、脊髄くも膜下麻酔や硬膜外麻酔等麻酔科医の管理症例も増えており、医療安全の充実を図っています。

引き続き、医療安全を最重視した医療を提供いたします。

■ 定義

手術室における手術全身麻酔件数です。検査等の全身麻酔件数は除きます。

■ 算式

レセプト算定数。

■ 令和元年度国立大学病院報告書:100床換算;中央値622.67、当院836.03

